国土調査昭和63年６月24日指定（国土庁告示第１号）
土地分類基本調査図（都道府県土地分類基本調査）

「この地図は建設省国土地理院長の承認を得て同院発行
の二万五千分の一地形図を縮図複製したものである。
（承認番号）平元，沖複第　４　号」

表層地質図　Subsurace Geological Map
沖縄本島北部１（奥・辺土名）Northern Part of Okinawajima（OKU-HENTONA DISTRICT）

凡　　例

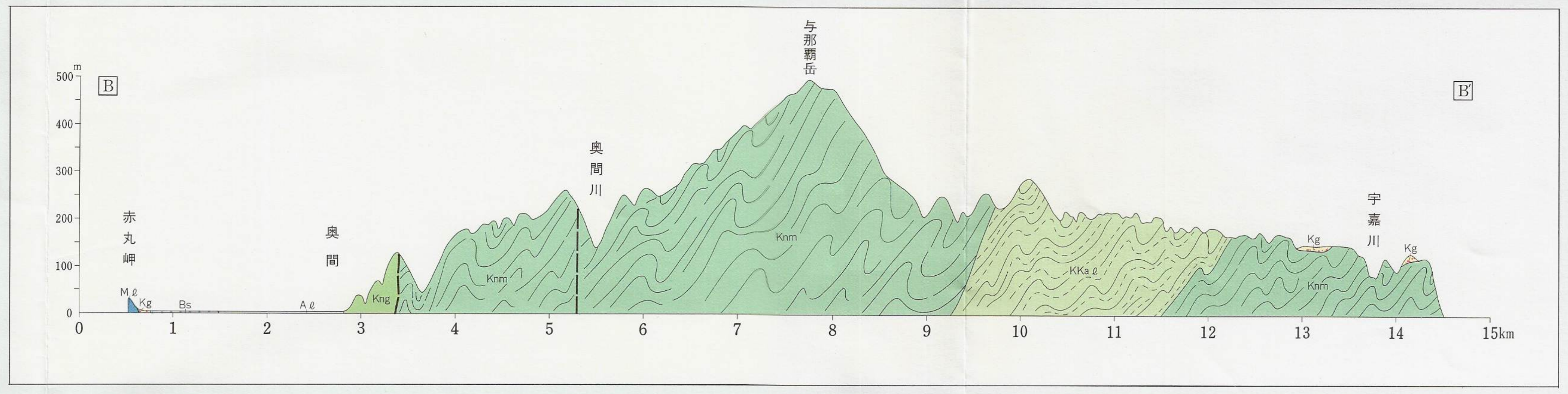
第四紀	完新世		Rs	現世サンゴ礁堆積物	（未固結粘土・シルト・砂・礫、石灰質堆積物主体、一部非石灰質堆積物含む、層厚数ｍ～40ｍ）
			Bs	海浜堆積物、ビーチロック 新期砂丘砂層	（未固結粘土・シルト・砂・礫、石灰質及び非石灰質堆積物、ビーチロックは板状固結堆積物、層厚数10cm～20ｍ）
			Aℓ	沖積層	（未固結粘土・シルト・砂・礫主体、非石灰質堆積物主体、海岸付近では石灰質堆積物含む、層厚数ｍ～30ｍ）
	更新世	琉球層群	Tℓ	段丘石灰岩層	（辺土岬に分布、砂質石灰岩（粟石状）でよく固結、基盤岩をおおって層厚１～２ｍで薄く分布）
			Kg	国頭礫層	（未固結粘土・シルト・砂・礫、固結度は沖積層よりよい。標高10～200ｍまでのいろんな高さの平坦面上に分布。層厚数ｍ～20ｍ）
			Rℓ	琉球石灰岩層	（本部半島・屋我地島に分布、固結～未固結石灰岩・石灰質砂岩、表層は赤褐色風化土壌分布、層厚数ｍ～50ｍ）
古第三紀～中生代	始新世～白亜紀	国頭層群	KKs	嘉陽層砂岩	（国頭山地に分布、固結砂岩、中粒～粗粒、粘板岩片を含む。層理面よく発達し、薄い粘板岩はさむ、地表面付近は層厚５～10ｍ風化）
			KKaℓ	嘉陽層砂岩 粘板岩互層	（国頭山地に分布、固結砂岩・粘板岩互層、層理面よく発達し、褶曲構造もみられる。地表面付近は層厚５～20ｍ間風化進む）
			Knm	名護層粘板岩・千枚岩 泥質片岩	（国頭山地で最も広く分布、固結粘板岩・千枚岩主体、一部泥質準片岩化。微褶曲発達、石英脈に富む。地表面付近は層厚５～10ｍ風化）
			Kng	緑色岩類	（国頭山地西海岸付近に分布、固結緑色岩類、層理面のみられるところと塊状のところとあり、地表面付近は層厚５～10ｍ風化）
	中生代		Mℓ	与那嶺層・今帰仁層 本部層石灰岩	（国頭山地西海岸に分布、固結石灰岩、点々とブロック状に分布。層理のよく発達する部分あり。）
			Mm	与那嶺層粘板岩	（国頭山地西海岸に分布、固結粘板岩、砂岩をはさむ。風化赤褐色粘土発達、地表面付近は層厚５～10ｍ風化）

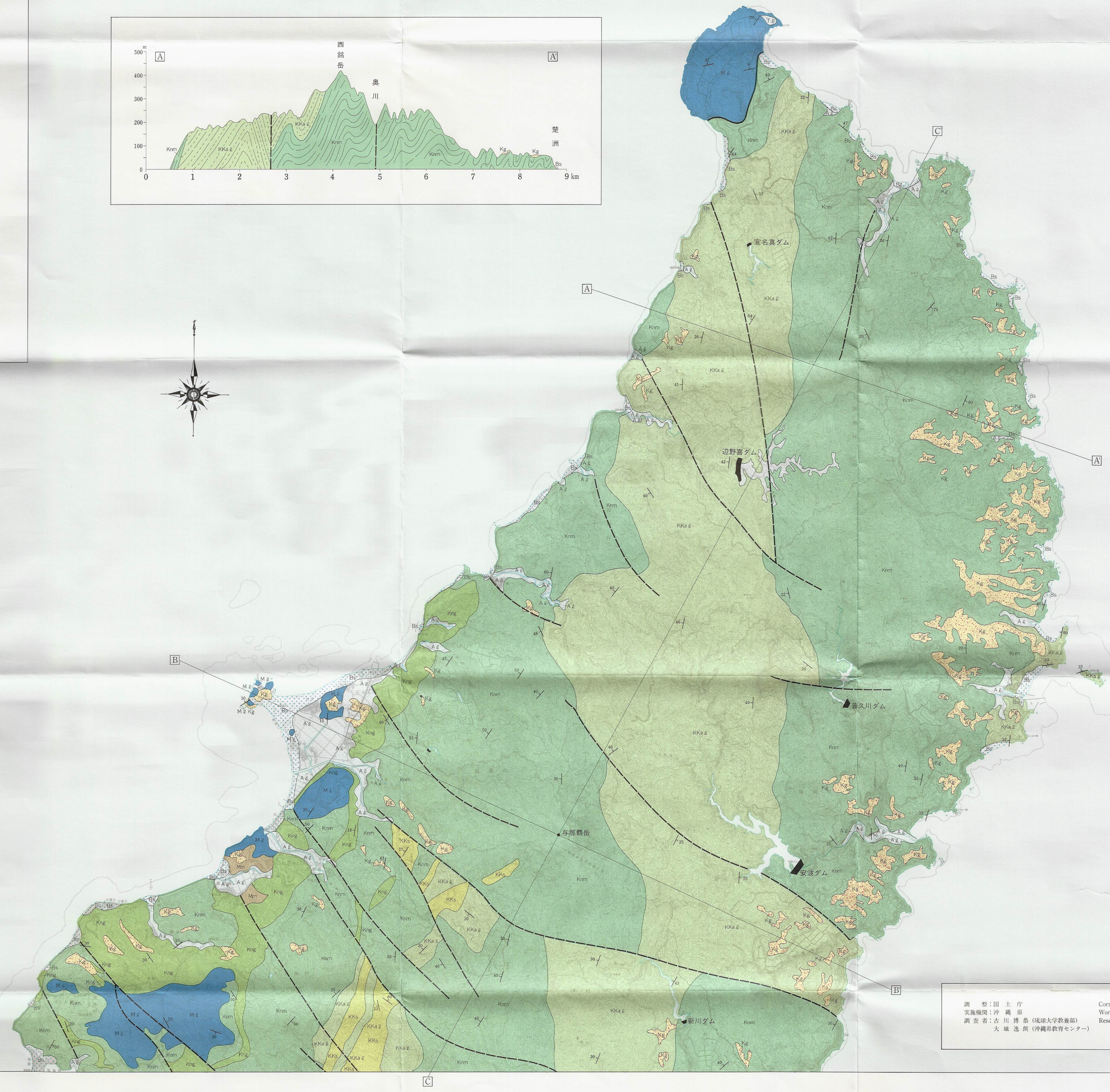
— — 断　　層

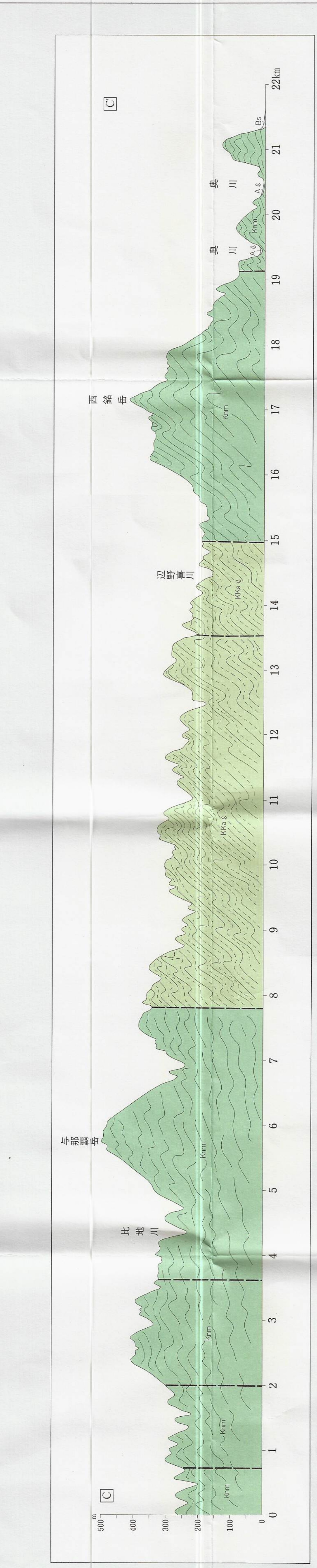
A — A′　地質断面線

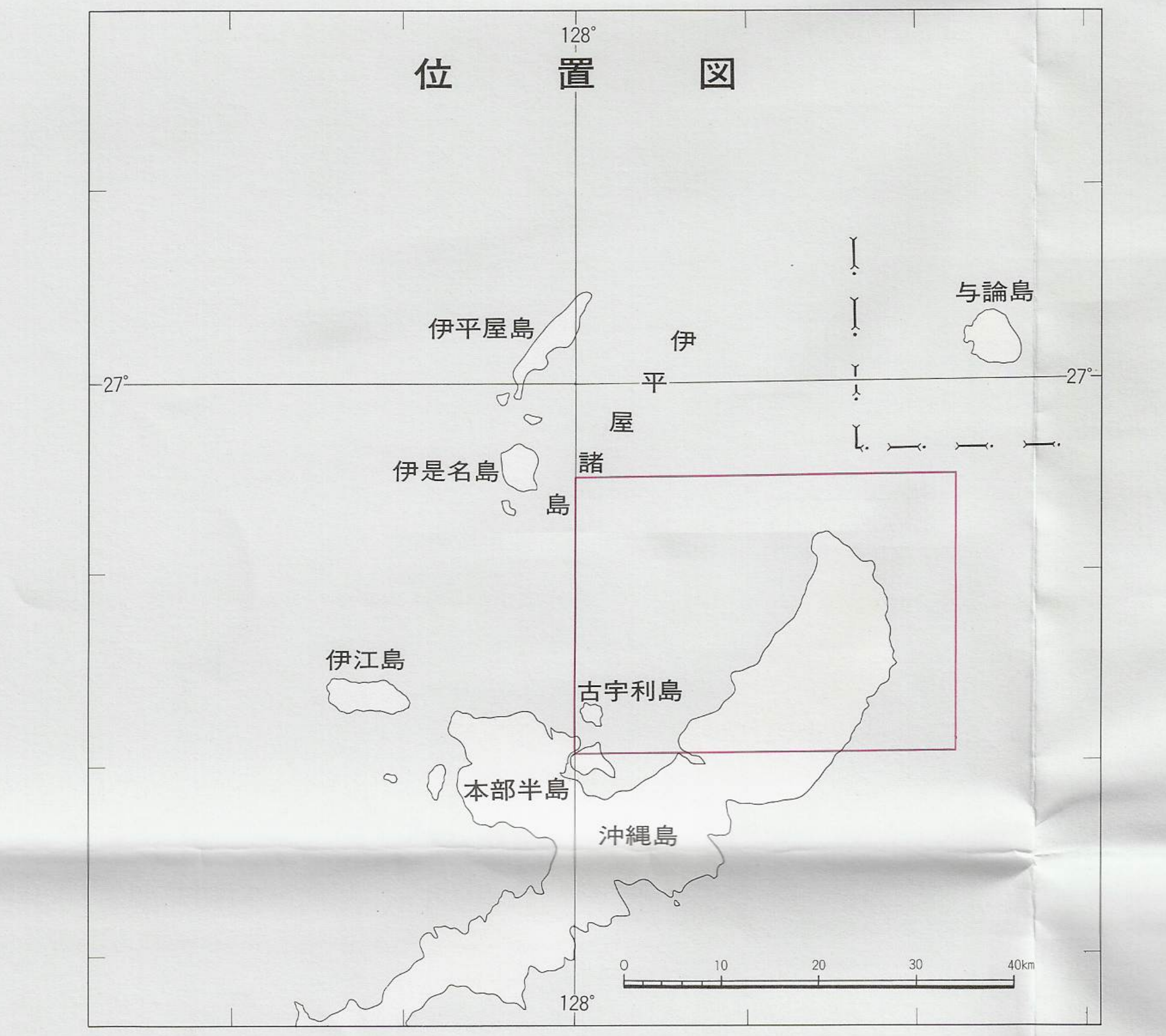
20 地層の走向・傾斜

既設ダムとその湛水域


B
B′
500 m
400
300
200
100
0
赤丸岬
奥間
奥間川
与那覇岳
宇嘉川
Mℓ
Kg
Bs
Aℓ
Kng
Knm
KKaℓ
Knm
Kg
Kg
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15km

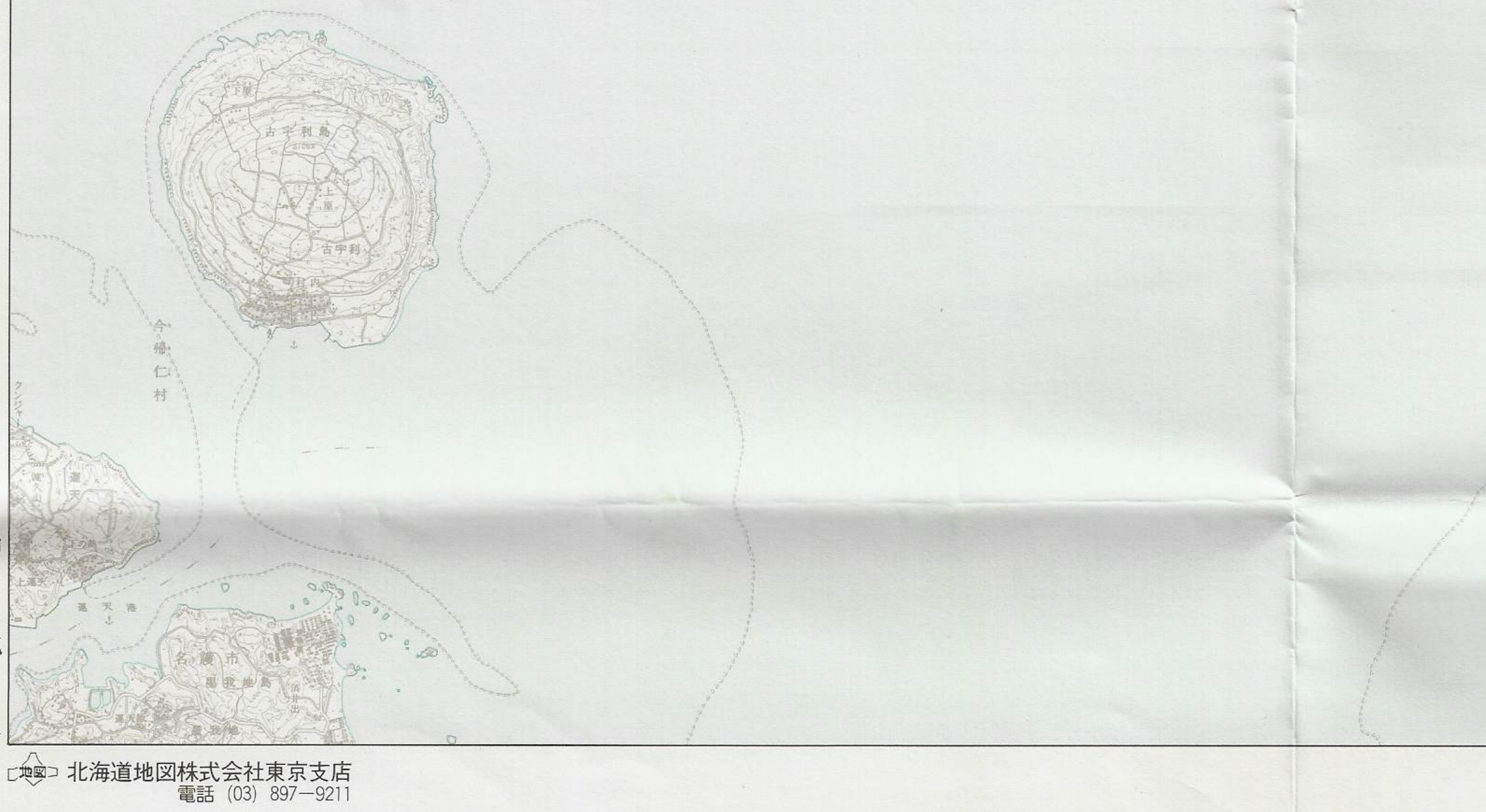

A
A′
500 m
400
300
200
100
0
西銘岳
奥川
楚洲
Knm
KKaℓ
Knm
Kg
Bs
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9 km
Tℓ
宜名真ダム
辺野喜ダム
普久川ダム
安波ダム
新川ダム
与那覇岳
A
A′
B
B′
C
C′
Knm
KKaℓ
Kng
Kg
Mℓ
Mm
Bs
Aℓ


C
C′
500 m
400
300
200
100
0
比地川
与那覇岳
辺野喜川
西銘岳
奥川
奥川
Knm
KKaℓ
Aℓ
Bs
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22km


位　置　図
128°
27°
伊平屋島
伊平屋諸島
伊是名島
与論島
伊江島
古宇利島
本部半島
沖縄島
0
10
20
30
40km

１：50,000

1000　0　1000　2000　3000　4000　5000m



調　　整：国　土　庁
実施機関：沖　縄　県
調 査 者：古　川　博　恭（琉球大学教養部）
　　　　　大　城　逸　朗（沖縄県教育センター）

Correlater：Natinnal Land Agency
Working Organization：Okinawa Prefecture.
Researchers：HIROYASU FURUKAWA（General Education Division, University of the Ryukyus）
　　　　　　ITSURO OSHIRO（Education Center, Okinawa Prefecture）

平成元年三月発行
沖縄県

地図 北海道地図株式会社東京支店
電話 (03) 897−9211